

事例名			
研究活動における情報共有のための ICT 活用			
校種・学年	高等学校・3、4年生		
教科・科目・単元・題材	課題研究・総合実習		
学校名〈任意〉	京都府立北桑田高等学校 (美山分校)	事例報告者氏名〈任意〉	辻村 香織
機能名(アプリ名)	Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint)		
ICT 活用のポイント			
<p>実習圃場での活動において収集した画像や計測したデータの共有を授業支援システムを用いて行った。 また、画像処理や統計処理を行った結果を即時に共有することで、データ処理の助言・指導が即時に行え、指導内容も該当生徒以外にも伝わることから効率的な指導が行え、手書きの指導で多くの時間を要していた論文作成の添削なども省力化でき、負担軽減となった。</p>			
活用場面			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>課題研究の履修は3、4年生であり、1、2年生の段階で基礎的な技術を習得させておく必要がある。例えば、平均値や偏差、分散などの数値の取り扱い、誤差の算出法、各グラフの特性や適用についてなど、調査研究の基礎となるソフトウェアの使用についてや、論文の様式や文章の作成方法、画像記録の要点などが生徒間または生徒と教員間で共有できていない場面が何度もあり、その都度、学習内容を復習することとなってしまった。</p> <p>次年度以降の1、2年生の授業に反省を生かしたい。一方で、生徒の撮影した画像は、教室でも作業・調査の様子を伝えてくれるため、具体的な指示に繋がりと、研究活動の質を高めることにつながったと感じており、生徒にとっても理解しやすいようであった。</p>			